



elderly



Happy



訪問看護師向け 在宅看取り教育プログラム PENUT/PENUT-Tのご案内

Program of End-of-life care
for home visiting Nurses Training



Health

Hello!!



LIFE

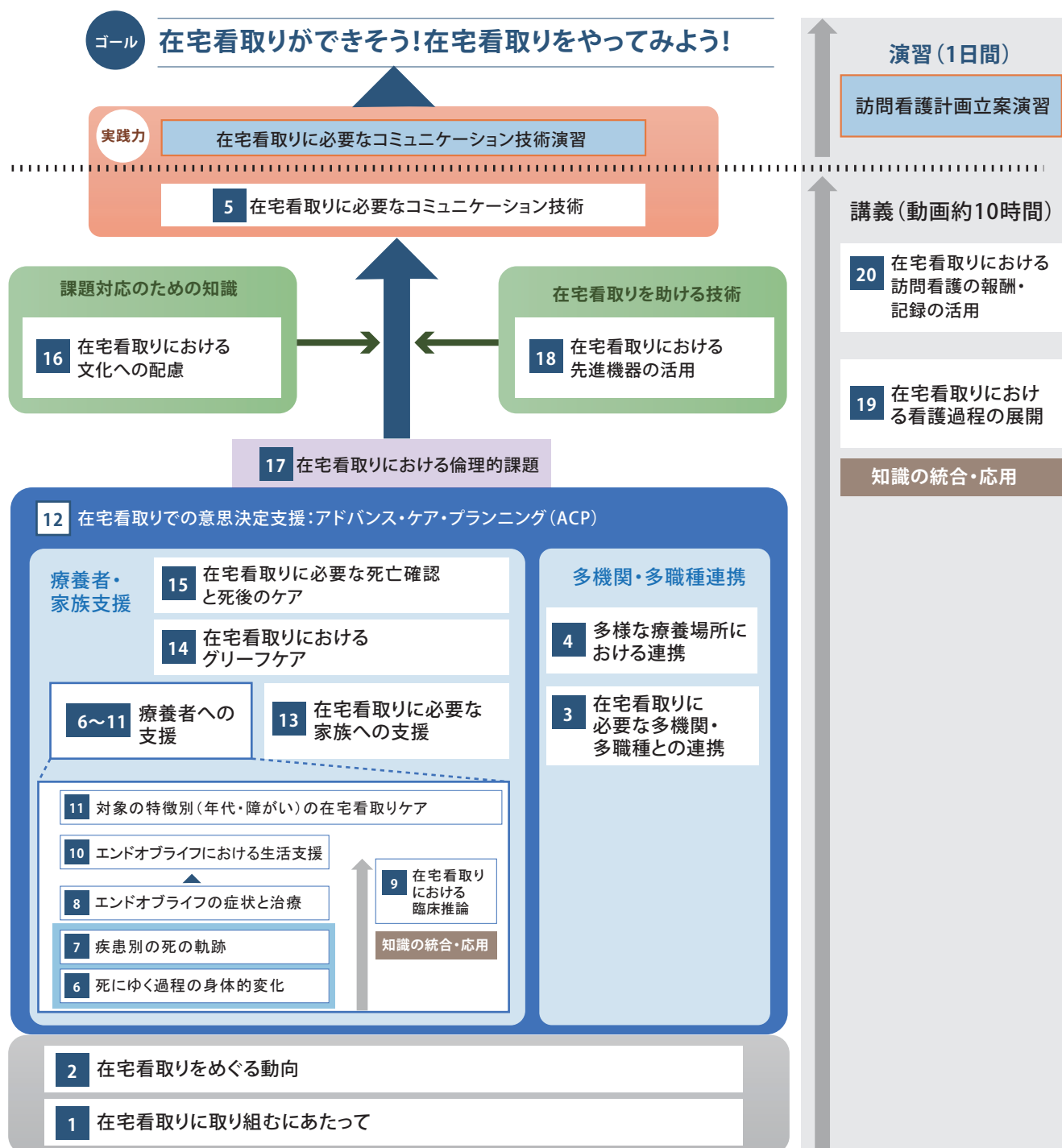


訪問看護師向け 在宅看取り教育プログラム(PENUT)とは

訪問看護師向け在宅看取り教育プログラムは在宅看取り初心者の訪問看護師が、在宅看取りに必要な知識や技術、療養者・家族・関係職種とのかかわり方を身につけ、

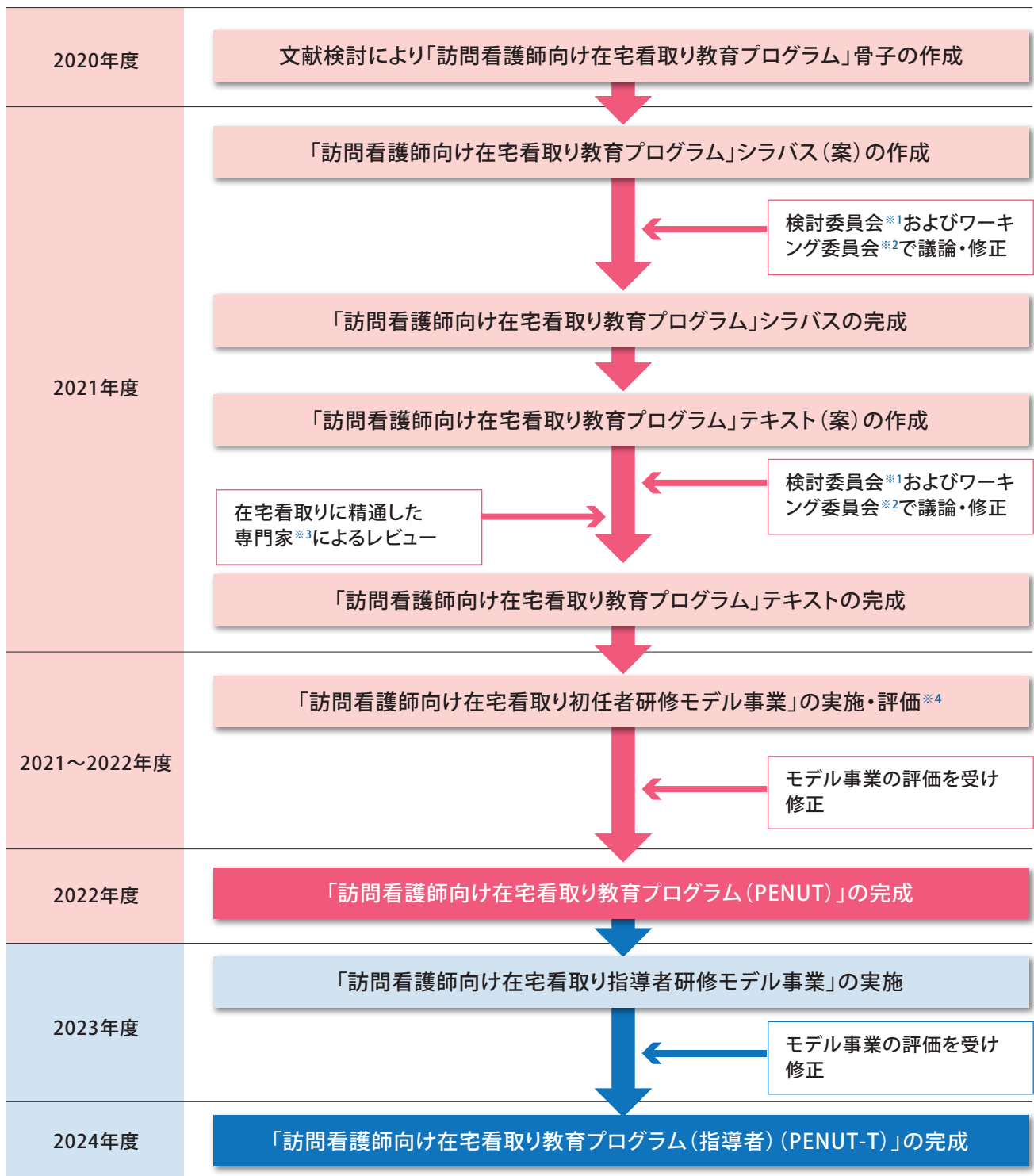
「在宅看取りができそう!」「在宅看取りをやってみよう!」

という気持ちになれることを目指したプログラムです。



上記20テーマの講義動画+テスト(オンデマンド)と2テーマの演習(ライブ)で構成されています。

訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム (PENUT) の作成過程



このように、文献検討、有識者による議論とレビュー、モデル事業による評価を経て開発されました。

- ※1 検討委員会：在宅看取りに精通した医学、看護学、介護学の有識者から構成。
- ※2 ワーキング委員会：在宅看護学または教育学の大学教員および大学院生から構成。
- ※3 在宅看取りに精通した専門家：検討委員会で推薦を受けた在宅看取りに精通した医師、看護師、薬剤師、介護福祉士、介護支援専門員から構成。
- ※4 評価結果の概要については5頁参照。

訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム (PENUT) の講師陣

在宅看取りに卓越した訪問看護師と医師による臨場感のある講義を
自分の好きなタイミングで繰り返し視聴できます！

項目	執筆・講義	
	氏名	所属・役職（認定・専門看護師等）※2024年6月現在
1 在宅看取りに取り組むにあたって	秋山 正子氏	特定非営利活動法人Maggie's Tokyo 共同代表理事/ 株式会社ケアーズ 代表取締役/白十字訪問看護ステーション 統括所長
2 在宅看取りをめぐる動向	佐藤 美穂子氏	公益財団法人 日本訪問看護財団 前常務理事
3 在宅看取りに必要な多機関・多職種との連携	清野 美砂氏	一般社団法人清風の会 けやき通り訪問看護ステーション 管理者（皮膚・排泄ケア認定看護師）
4 多様な療養場所における連携	富岡 里江氏	株式会社ウッディ 訪問看護ステーションはーと 主任（訪問看護認定看護師）
5 在宅看取りに必要なコミュニケーション技術		
6 死にゆく過程の身体的変化	平原 優美	公益財団法人 日本訪問看護財団 常務理事（在宅看護専門看護師）
7 疾患別の死の軌跡		
8 エンドオブライフの症状と治療	平原 佐斗司氏	東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター長
9 在宅看取りにおける臨床推論	島田 珠美氏	医療法人誠医会 川崎大師訪問看護ステーション/ 療養通所介護まこと 統括管理者（診療看護師 (NP)）
10 エンドオブライフにおける生活支援	大橋 奈美氏	医療法人ハートフリーやすらぎ 常務理事兼統括管理責任者（特定認定看護師 (在宅ケア)）
11 対象の特徴別（年代・障がい）の在宅看取りケア	中島 朋子氏	株式会社ケアーズ 東久留米白十字訪問看護ステーション 所長/ 一般社団法人 全国訪問看護事業協会 常務理事（在宅看護専門看護師、緩和ケア認定看護師）
12 在宅看取りでの意思決定支援： アドバンス・ケア・プランニング (ACP)		
13 在宅看取りに必要な家族への支援	柴田 三奈子氏	株式会社ラビオン 代表取締役/ラビオンナースステーション 統括所長（訪問看護認定看護師、認定看護管理者）
14 在宅看取りにおけるグリーフケア	藤田 愛氏	医療法人社団慈恵会 北須磨訪問看護・リハビリセンター 所長（慢性疾患看護専門看護師）
15 在宅看取りに必要な死亡確認と死後のケア		
16 在宅看取りにおける文化への配慮	福田 裕子氏	株式会社まちナース まちのナースステーション八千代 統括所長
17 在宅看取りにおける倫理的課題		
18 在宅看取りにおける先進機器の活用	岩本 大希氏	WyL株式会社 代表取締役（在宅看護専門看護師）
19 在宅看取りにおける看護過程の展開		
20 在宅看取りにおける訪問看護の報酬・記録の活用		

※平均所要時間：10時間

訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム (PENUT) 演習

専門の教育を受けたファシリテーターが
オンラインや対面で実施する1日間のライブ研修です!

午前 訪問看護計画の立案(グループワーク)

事前課題として、山田太郎さん(仮想)の訪問看護指示書と看護サマリーをお渡しし、初回訪問時の訪問看護計画書を作成してもらいます。

演習当日は4~8人から構成されるグループに分かれ、訪問看護計画を立案するために必要な追加情報やその理由、山田太郎さんにとって優先順位が高いと考えられる看護などについて議論します。

午後 コミュニケーション技術(ロールプレイ)

初回訪問時の場面設定で、受講者は訪問看護師役、療養者役、家族役、観察者役となり、療養者や家族の揺れ動く気持ちを理解し、思いを引き出すコミュニケーション技術を体験すること、そしてその体験を通して自身のコミュニケーションの傾向を知ることが目的としています。

ロールプレイの後には、訪問看護師役のコミュニケーションについて、良かった点、こうすればもっと良くなると思った点などをフィードバックしてもらい、明日から使えるコミュニケーション技術の修得を目指します。

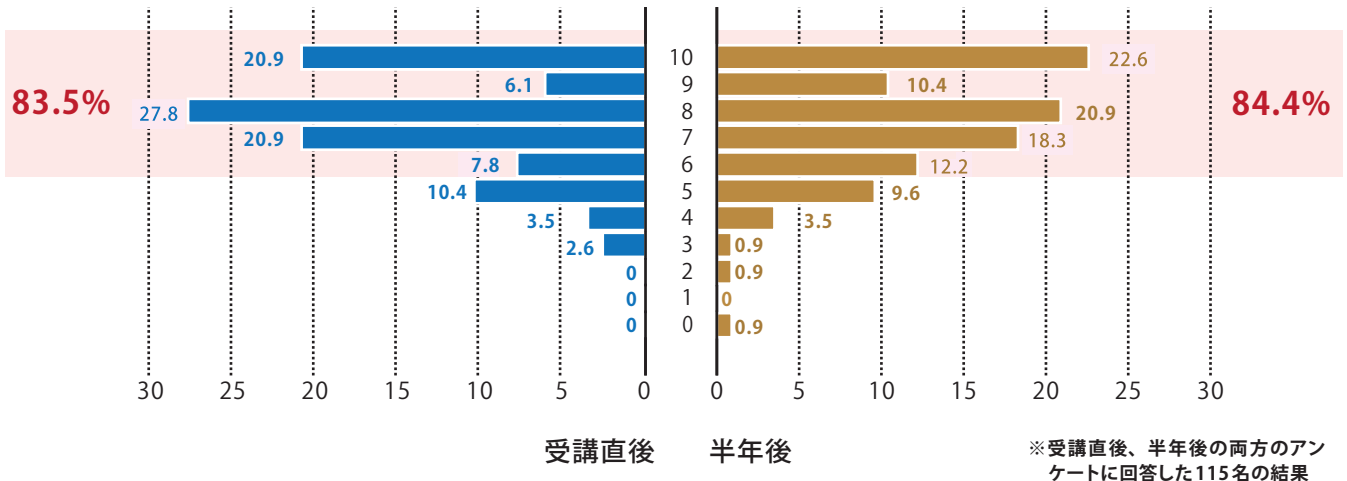
オンラインでのロールプレイ(例)



訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム(PENUT)の有効性 —アンケートの結果より—

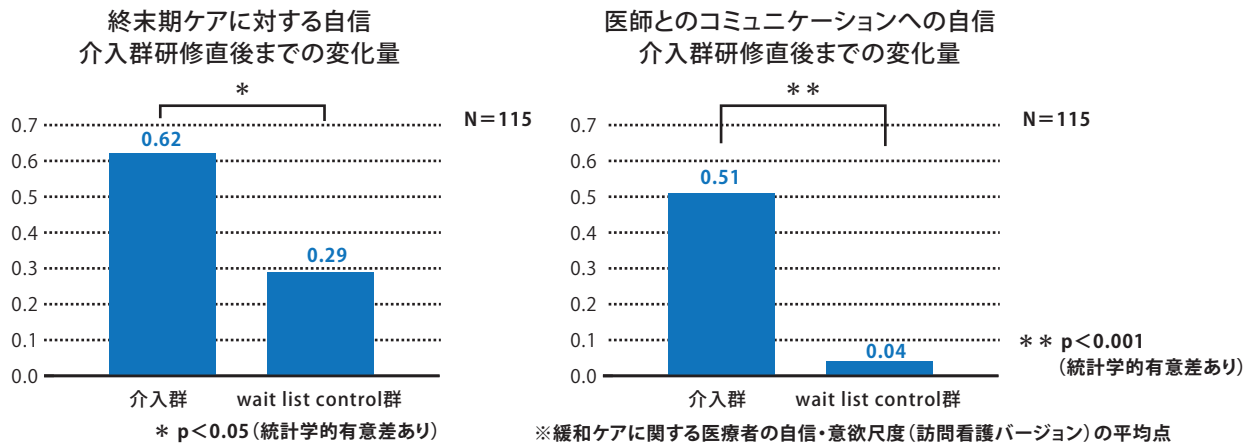
● 本研修を受講し「在宅看取りができそう!やってみよう!」という気持ちになったか

気持ちの強さを0～10の11段階で質問したところ、
受講直後は10(非常になっ)～6が83.5%であり、半年後もその気持ちは継続されていた



● 終末期ケアと医師とのコミュニケーションへの自信の研修受講前後の変化

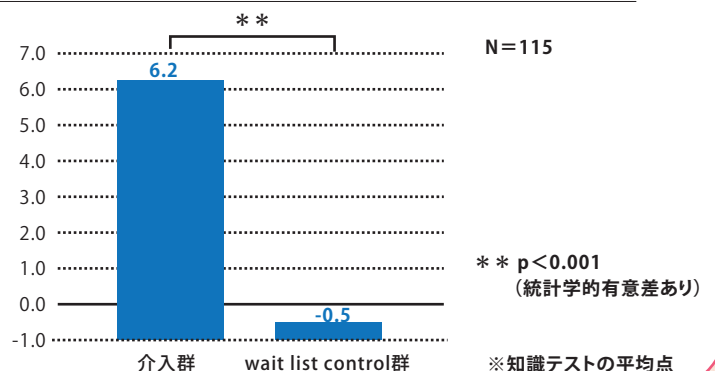
研修受講者は研修受講直後に、受講していない者と比較し
終末期ケアに対する自信と医師とのコミュニケーションへの自信がついた



● 在宅看取りの知識の研修受講前後の変化

研修受講者は研修受講直後に、
在宅看取りの知識が向上した

さらに、研修受講直後に高まった
知識や自信は、半年後も概ね維持
されていた



訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム(指導者)

Program of End-of-life care for home visiting NURSES Training-Trainer :PENUT-T

ファシリテーションスキルを基礎から学び、 仲間と協力してPENUTを開催できる力を養います！

在宅看取りを推進するという使命感をもち、所属施設や地域において在宅看取りを実践できる訪問看護師を意欲的に養成できる「指導者」の養成を目指したプログラムです。

受講要件

下記すべてを満たす方

- 1 訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム(PENUT)を修了している
- 2 訪問看護師として在宅看取りに3年以上携わったことがある
- 3 PENUT修了後、訪問看護師として在宅看取りを2例以上経験している
- 4 自施設や地域でPENUTを開催する意志がある
- 5 管理者または所属部署責任者の推薦が得られる
- 6 名前および所属を掲載したリストをPENUT専用ウェブページに掲載することに同意できる
- 7 日本訪問看護財団の会員である

プログラム

項目	講義・演習担当者		
	氏名	所属・役職 ※2024年6月現在	
1	在宅看取りを実践できる訪問看護師を養成する 必要性和指導者の役割	平原 優美 公益財団法人 日本訪問看護財団 常務理事	
2	グループワーク研修の実施・評価と ファシリテーターの役割・コツ	栗田 佳代子氏 東京大学 大学総合教育研究センター 副センター長/教授	
3	訪問看護計画立案演習のポイント	平原 優美 公益財団法人 日本訪問看護財団 常務理事	
4	PENUT演習の ファシリテーション	訪問看護計画立案演習の ファシリテート(演習)	スーパーバイザー (PENUT-T修了者)
5		コミュニケーション技術演習の ポイント	平原 優美 公益財団法人 日本訪問看護財団 常務理事
6		コミュニケーション技術演習の ファシリテート(演習)	スーパーバイザー (PENUT-T修了者)
7	地域で研修を開催する準備	スーパーバイザー (PENUT-T修了者)	

※集合研修(1日間)として実施する

受講方法

訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム：PENUT

講義（オンデマンド配信）

講義動画約10時間 + テスト
受講可能期間：2か月間



演習（ライブ配信等）

1日間



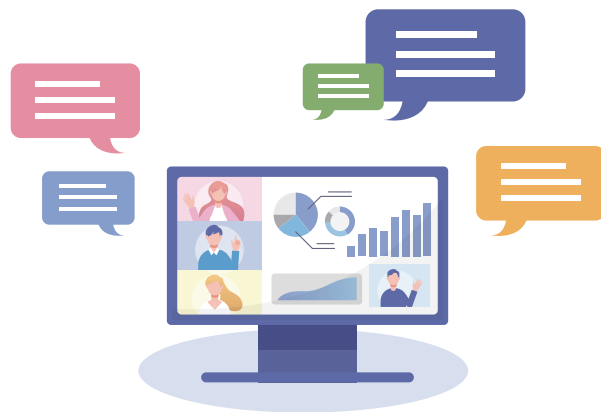
訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム（指導者）：PENUT-T

講義および演習（集合研修、1日間）

- 全ての講義（動画視聴およびテスト）と演習を受講すると「訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム（PENUT）」修了証が発行されます。
- PENUTは講義のみを受講することも可能です。その場合には、講義を修了した旨が記載された修了証を発行いたします。
- 訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム（指導者）は、PENUT修了者が対象となります。（その他、受講要件の詳細は6頁をご参照ください）

- 研修日程等詳細は当財団のホームページをご参照ください。

Web研修等のご案内



Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

お問い合わせ

公益財団法人 日本訪問看護財団

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル5階

TEL: 03-5778-7001（土日・祝日を除く9:00～17:30）

Mail: info-kensyu@jvnf.or.jp

2024年9月発行